

魅力ある中学校作りを目指して

シリーズ③ 中学校統合による効果とは

飯山市では、中学校の適正規模等について、飯山市中学校適正規模等審議会から昨年3月に答申を受けました。現在3校ある中学校の数を、既存校舎を活用し平成21・22年度に2校に統合することを柱とした内容となっており、その答申に基づき現在、本年中に「飯山市中学校統合計画」(案)の作成を行うべく、飯山市中学校統合推進委員会において検討を行っています。

市報7月号より、中学校の統合について「背景・課題」「懇談会で寄せられた意見」についてお伝えしてきましたが、今回は中学校統合によって考えられる教育効果についてお伝えします。

中学校の統合による効果

中学校統合により生徒、クラス、教員の確保ができるため、次の効果が見込まれます。

- ① 中学生という多感な成長期に色々な考え方や個性に触れ、自らの生き方や人間関係を広げる体験の機会が多くなり、多様な生き方を学ぶことができる。
- ② 部活動や生徒会活動などにおいて、学校内の活力の向上、生徒の自主的活動の活性化が図られる。
- ③ 教科学習において、生徒の興味、関心や学力実態に合

わせた指導の充実が図られ、選択教科、少人数指導などで生徒の幅広いニーズに応じることができ。

- ④ 保護者数の増加に伴い、学校運営を支援する活動等の充実が図られ、より組織的な活動の運営や保護者等への負担軽減を行うことができる。
- ⑤ 校舎の老朽化に伴う営繕修繕、管理事業費の支出が抑えられ、市独自の教員加配などの対策に充てることができる。

1校への統合でなく2校に統合することの効果

① 地域の特性を考慮し、生徒が学校生活や通学時間等

でゆとりを持った環境が作られ、個々の生徒の学校生活を保障し、安心感を与えることができる。

② 2校が互いに切磋琢磨しあうことができ、生徒・教員の活力の向上と活性化が図られる。

③ 中学校への進学にあたり、同一地域の生徒が同じ中学校に進むことができ、中一ギャップ(※)等での生徒指導上の不安要素を少なくできる。

(※)中一ギャップ：小学生から中学生になったとたん、学習や生活の変化になじみずに登校となったり、いじめが急増するという現象)

④ できるだけ地域と学校が近い関係を保ち、互いに関心をもち合うことができる。また地域・学校の連携によって、ふるさと教育や地域の信頼関係に立った教育ができる。

既存の校舎(一中・三中)を活用することによる効果

① 地形や交通網等の利便性が活用でき、地域の活性化が図られる。(飯山駅および戸狩野沢温泉駅)

② 市の財政への圧迫が避けられ、市民への将来の負担や不安の軽減が行える。

③ 学校施設設備における改修工事および備品整備の効率化により、必要な施設・設備等に配分することができ。

④ 財政負担の軽減により、ソフト的な教育面の充実を行うことができる。

平成22年に統合することによる効果

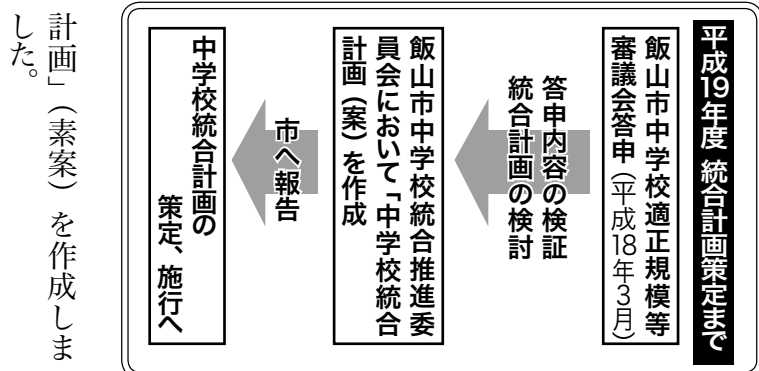
① 期間が設けられ、関係者とのより良い計画の構築や地域での合意形成ができ、新しい学校、まちづくりの推進に共通認識を持ち取り組むことができる。

② 平成22年から始まる生徒数の大幅な減少(一中以外は2クラス編成)が避けられ、市内の小中学校において、学習環境の均衡化と充実を図ることができる。

③ 平成21年までの高校再編(飯山南・照丘高校の統合)の実施時期との重複が避けられ、市内の中学校において学習環境の均衡化と充実を図ることができる。

統合計画(素案)の説明会を行います

このような効果を考慮する中で、委員会では「統合



計画」(素案)を作成しました。

9月中旬から説明会を各地区で予定(各地区の日程は別紙チラシをご覧ください)としていますので、多くの方のご参加をお願いします。(日程等、詳細については、防災無線等でもお知らせします。)

お問い合わせ
教育委員会子ども課
学校教育係 ☎623111
内線361、362

参加者募集

第15回 千曲川体験シンポジウム

秋の千曲川 川下り

9月30日(日) 開催

集合：いいやま湯滝温泉 受付開始：8時30分

参加者全員に「いいやま湯滝温泉券」をプレゼントします!

飯山を代表する千曲川の豊かな自然に触れ合い、人間と自然が共存する川の機能を学習すると共に、自然環境への意識を高めませんか。

各コースへの参加者を募集しています。定員になり次第締め切りとなりますので、お早めにお申し込みください。(いずれも対象は小学生以上の方です)

マウンテンバイクによる千曲川堤防下り

●募集人数 20名 ●参加費 2,000円

カヌーはちょっとこわいわ…という方にオススメ。堤防から千曲川を散策しよう!

コース

飯山カヌーポート→常盤親水公園河原→道の駅 千曲川→柏尾カヌーポート→湯滝カヌーポート(昼食は柏尾カヌーポート、千曲川の災害復旧現場も見学します)

持ち物

手袋、帽子、ヘルメット(ある方)、サングラス、昼食、飲み物、着替え、雨具

カヌーによる千曲川下り

●募集人数 50名 ●参加費 2,000円

水面と同じ目線で川を下ってみましょう! 初心者の方も安心してご参加いただけます。

コース

飯山カヌーポート→常盤親水公園河原→柏尾カヌーポート→湯滝カヌーポート(昼食は柏尾カヌーポート)

持ち物

濡れても良い服装、帽子、サングラス(ある方)、昼食、飲み物、着替え、雨具

バスによる千曲川巡り

●募集人数 30名 ●参加費 1,000円

高いところから飯山盆地、千曲川を観察しよう!

コース

飯山カヌーポート→常盤親水公園河原→道の駅 千曲川→信濃平のハングライダー乗り場→柏尾カヌーポート→湯滝カヌーポート(昼食は柏尾カヌーポート、千曲川の災害復旧現場も見学します)

持ち物

昼食、飲み物、雨具

主催：千曲川体験シンポジウム 実行委員会

国土交通省北陸地方整備局千曲川河川事務所・飯山市(財)飯山市振興公社・なべくら高原 森の家

■お問い合わせ・お申し込み

なべくら高原 森の家 ☎69-2888

大会スケジュール

■開会式 午前6時 レストラン ハイジ

■スタート…レストラン ハイジ

①一般クラス(50km) 午前6時30分

②ビギナークラス(15km) 午前7時

■ゴール…レストラン ハイジ

・トップ選手ゴール予想時刻 午前11時頃

・ゴール制限時間 午後3時30分

ボランティアスタッフ募集

コース誘導係・給水所係・駐車場係など、大会運営をサポートしていただけるボランティアスタッフを募集しています。

地元の皆様のご協力をぜひお願いいたします。

お問い合わせ先

斑尾高原観光協会(まだらお高原 山の家)
☎64-3222

●斑尾高原観光協会ホームページ
<http://www.madarao.tv/>

森の中を駆け抜ける選手達の応援にお出かけください!

山や森の中の自然歩道をマラソンのように走るトレイルランニング。その大会が10月8日に斑尾高原トレッキングトレイルを舞台に開催されます。斑尾高原スキー場をスタートし、斑尾山・袴岳・希望湖・毛無山などを経て制限時間9時間以内にゴールを目指す一般クラス50キロと、ビギナークラス15キロの2つのクラスで競われます。スタート・ゴール地点では、アウトドアメーカーのブースや出店など多数並びキノコ汁のサービスもあります。また観戦者を対象とした抽選会やノルデックウォーキング講習会も予定しています。

